

# 2001年から20年以上にわたり学生向けPCの販売をSCSKに委託 サポート窓口の設置によりオンライン授業へのスムーズな移行を実現

## 福岡工業大学 様

SCSKが機種選定、調達、販売、ソフトウェアのセットアップまで幅広く対応  
サポート面も支援することで、教職員の負担を大幅に軽減

### 事例のポイント

#### ■ 福岡工業大学様の課題

- 学生が使う数百台のPCを数人の職員が調達・設定して配布するのは困難
- 販売後の保守サポートも教職員で対応するのは極めて困難
- コロナ禍によるオンライン授業のスタートに合わせ、学生からの問い合わせが急増

#### ■ 課題解決の成果

- 販売をSCSKへ委託し、毎年数百台の大学推奨PCを確実に調達・設定
- 学内サポート窓口を設置することで、教職員の負担を大幅に軽減
- オンライン授業を支える学生PCサポート体制を確立

#### ■ 導入ソリューション 学生向け推奨パソコン販売サービス(企画支援/販売/保守)

「大学の中でPCを使うのは当たり前」という意識が醸成され、  
自主的に学ぶ意欲の高い学生が増えています」

情報基盤センター長 利光 和彦 氏

### 背景・課題

推奨PCの導入にあたり、選定から調達、  
設定、販売、その後のサポートなどにまつわる  
負担増が課題に

「For all the students」～すべての学生生徒のために～を理念に、社会に貢献する実践型人材の育成を目指す福岡工業大学(以下、FIT)。同大学では、アクティブラーニング型授業の実践を掲げており、対面による対話を重視した授業を行っている。さらに、学園全体(大学・短期大学・高等学校)のビジョンを明確にし、設置校の改革・改善を促進するための中期経営計画(マスタープラン)を策定。常に教育内容・方法の改善を図りながら、ソフト・ハードの両面から学生をサポートしてきた。

こうした取り組みは受験生をはじめ、高校教員、産業界などから高く評価されており、2006年度から2020年度まで入試の総志願者数は14年連続で増加。2021年度入試ではコロナ禍でも過去最高水準の志願者で志願倍率は九州の大学でNo.1を達成。就職率も99.7%と非常に高く、うち7割以上が上場企業や大手・中堅企業(2021年3月卒業生)で、日経新聞社/日経HRが選ぶ「企業の人事担当者が採用を増やしたい大学ランキング」でも、九州の大学では2年連続1位(2020年全国1位、2021年全国5位)に選ばれている。

FITが新入生に対し、推奨するPCを販売する「大学推奨ノートPC販売事業」を開始したのは2001年度のことだ。その狙いについて情報基盤センター 情報企画課 課長の藤原昭二氏は「PCやインターネット

### お客様プロフィール

**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
福岡工業大学

学校法人 福岡工業大学

所在地：福岡県福岡市東区和白東3-30-1  
URL：https://www.fit.ac.jp/

1963年、福岡電子工業大学工学部として開設、1966年に名称を福岡工業大学に変更。現在は工学部、情報工学部、社会環境学部の3つの学部と短期大学部、さらに大学院をよする。広大なキャンパスに約4,750人の学生が在籍しており、九州の私大No.1の就職率、「企業の人事担当者が採用を増やしたい大学ランキング」でも九州の大学では2年連続1位(2020年全国1位、2021年全国5位)と、就学教育にも注力。地域や企業と連携しながら、九州のモノづくりに貢献するさまざまな活動を展開している。



福岡工業大学  
情報基盤センター長  
エクステンションセンター長  
情報工学部 情報システム工学科  
教授  
博士(工学)  
利光 和彦 氏



福岡工業大学  
学術支援機構 機構長付部長  
附属図書館事務室 事務部長  
中島 良二 氏



福岡工業大学  
情報基盤センター 情報企画課 課長  
附属図書館事務室 事務長  
藤原 昭二 氏

の普及が進み、教育の情報化も加速する中、学生たちにPCを“文房具感覚”で使いながら、普段の授業を受講したり、授業外学習で利用したりすることで、情報活用能力を醸成してもらえればと考えました」と語る。

しかし、大学自身が推奨PCを選んで調達、設定やソフトウェアのインストールを行って販売、そののちも問い合わせや故障に対応するというのはなかなか難しい。「当時は情報基盤センターの職員も数名しかおらず、学内のシステムやネットワーク、PC教室などの管理・運用、情報セキュリティ対策を行いながら、毎年1,000人近く入学する学生の一人ひとりに対して、丁寧にサポートすることは不可能でした」(藤原氏)

解決策と効果

推奨PC関連の業務をSCSKに  
すべて委託することで教員は授業や研究、  
職員は学内システムの運用に集中できる

そこでFITは、推奨PCの企画から販売、保守までを外部のベンダーに委託することを決断。パートナーにSCSKを選択した。その理由について、学術支援機構 機構長付部長の中島良二氏はサポート面にあったと語る。

「複数の候補を検討したのですが、サポート窓口を学内に設置する提案をしてくれたのはSCSKだけでした。というのも、学校周辺にはPCショップがないため、仮にPCが故障してしまうとどうしようもありません。その点、学内に窓口があればすぐに持ち込めますし、情報基盤センターの職員にも負担がかかりません。これがSCSKを選ぶ最大の決め手となりました」

学生が推奨PCを利用する流れだが、まず合格者に送る入学案内にPCのパンフレットを同封して送付。購入を希望する学生は、SCSKが用意した販売サイトを通して申し込む。その後、入学式などのタイミングで学内にあるサポート窓口(PCインフォスクエア)で受け取る。ノートPCは価格別に3種類あり、自由に選ぶことができる(2021年時点)。いずれのPCにも授業で利用するMicrosoft 365やMicrosoft Visual Studio、

Adobe製品、数値解析などのソフトウェアがあらかじめインストールされている。希望すれば保証期間の延長や動産保険の付加も可能だ。

「2001年以降、年によって波はあるものの、新入学生の約4割、400人近くが推奨PCを購入しています。また2021年は、コロナ禍の影響もあって前年より230人増加しました。学生が自分でPCを用意することもできますが、その際には大学がライセンスしているソフトウェアをPCインフォスクエア内、あるいはWebサイトから無料でインストールすることができません」(藤原氏)

なお、2020年のコロナ禍の影響により、推奨PCの運用体制は大きく変化した。福岡県でも緊急事態宣言が発出され、同大学でも遠隔授業を実施することになったのである。このときは短い準備期間でシステムを構築、授業の実施にこぎつけることができたのだが、これをイノベーションのチャンスと捉えた情報基盤センターでは、DX推進計画「FIT-DX」を新たに策定。教育のデジタル化に対応するため、2021年度の新入生から実質的なPC必携化に踏み切った。情報基盤センター長の利光和彦氏は次のように語る。

「スマートフォンでも情報を得ることはできますが、論理的なレポートを書く能力はPCでしか培えません。そこで2021年度より、PC必携化を目指すことにしました」

FIT-DXでは、オンデマンド動画などのデジタル教育資産や高度情報化ソフトウェアの拡充を図りつつ、対面とオンラインのハイブリッド授業を展開している。DXの推進によってペーパーレス化やオンライン化が進むなど、必携PCやFIT-DXの効果は徐々に現れているという。

「これまでは授業でプリントを配布していましたが、2021年からは教員がPDFファイルをアップロード、学生はPCでそれを参照しながら授業を受けるかたちになりました。大学の中でPCを使うのが当たり前という意識が学生の中で醸成され、自主的に学ぶ意欲の高い学生が増えています」(利光氏)

同大学はSCSKについて、サポート力の高さとさまざまな要望に応えてくれる柔軟な姿勢を高く評価。20年以上の長きにわたって契約が続いている。中でも、推奨PC関連の業務をすべて委



キャンパス全景。必携 PC や FIT-DX の効果でペーパーレス化やオンライン化が進む

託できるため、教職員が本来の業務に集中できる点大きいという。

「最近はオンライン授業に関する学生からの問い合わせが増えているのですが、推奨PCに関する問題はSCSKが対処してくれるので非常に助かっています」(中島氏)

今後の展望

ビッグデータを活用し教育効果や  
大学運営の可視化を目指す

今やFITではPCを使う授業が“当たり前”となっている。今後はこうした環境を活用し、教育の成果を出していくことが大きなテーマだ。藤原氏は「中期経営計画の第8次が2021年で終了し、2022年からは第9次がスタートします。その中で、教育面から研究面、教職員の働き方改革まで、あらゆることにDXを推進し、大学の運営に生かしていきます」と語る。

こうした中、同大学が力を入れようとしているのがビッグデータの活用だ。

「教育効果や大学運営の可視化に向けて、学内の各種教育活動で得られるデータやAIをはじめ先端技術を駆使した戦略を検討していきます。SCSKには引き続き、技術面と人材面の両方で変わらぬ支援をいただけたらと思います」(利光氏)

FITとSCSKは、今後も連携しながら教育のデジタル化を促進していく。



プラットフォーム事業グループ  
九州プラットフォーム事業本部  
営業第一部  
営業課

田中 修平

SCSK担当者からの声

2001年からスタートした学生向けPC販売事業も本年で20年を迎えることができました。この年月を積み重ねることができたのは、情報基盤センター様をはじめとした関係する皆さまから、事業に対して日々叱咤激励を頂戴し、その声を運営改善に生かし続けることができた成果だと考えております。今後も福岡工業大学様が掲げる「For all the students」～すべての学生生徒のために～の理念を弊社としても念頭に置き、これまで以上に学生生徒に対して充実したサービスが提供できるよう精進して参ります。



SCSK株式会社

- キャンパスPC販売サービス関連記事サイト

SCSKグループ お客様事例

▶URL : <https://www.scsk.jp/case/case-details/202109university/index.html>

SCSK IT Platform Navigator

▶URL : <https://www.scsk.jp/sp/itpnavi/article/2021/09/clientpc.html>

- 本件に関するお問い合わせ先

九州プラットフォーム事業本部  
営業第一部

▶Mail : [kyushu-info@scsk.jp](mailto:kyushu-info@scsk.jp)